

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 36 回 定期安全レビュー分科会 (P6h2SC36) 議事録

1. 日時 2014 年 8 月 21 日(木) 13:30~17:30

2. 場所 中部電力東京支社 第 6 会議室

3. 出席者(敬称略)

(出席委員) 岡本分科会主査、上野副主査 (MRI)、成宮分科会幹事(関電)、伊藤圭介(中部)、
倉本 (NEL)、林 (中野代理) (関西)、中村 (JAEA)、平川 (原安進)、村上 (東大)、
中村(原電)、渡辺 (東電)

(欠席委員) なし

(常時参加者) 熊坂 (NEL)、古賀 (電発)、松本 (四国)、福永 (九州)、三山 (NEL)、
山口 (東京)、角田 (東京)、福間 (中国)、伊藤信哉 (規制庁)、曾根 (東北)

4. 配布資料

P6Ph2SC36-0 第 36 回定期安全レビュー分科会 議事次第

P6Ph2SC36-1-1 第 34 回定期安全レビュー分科会 議事録 (案)

P6Ph2SC36-1-2 第 35 回定期安全レビュー分科会 議事録 (案)

P6Ph2SC36-2-1 人事について

P6Ph2SC36-2-2 定期安全レビュー分科会 委員名簿

P6Ph2SC36-2-3 定期安全レビュー分科会 常時参加者名簿

P6Ph2SC36-3-1 原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針 (案)

P6Ph2SC36-3-2 部会投票コメント対応表 (P S R プラス指針案)

P6Ph2SC36-4-1 原子力発電所の継続的なリスク低減活動ー自主的安全性向上とはー (案)

P6Ph2SC36-4-2 部会投票コメント対応表 (継続的なリスク低減活動)

P6Ph2SC36-5 今後のスケジュール

5. 議題

①前回までの議事録確認

②人事について

③指針案の部会コメント対応方針について

④今後のスケジュール

6.

6. 議事内容

委員の定足数満足（11名/11名）を確認した。

(1) 前回までの議事録の確認について

成宮幹事より説明があり，了承された。

(2) 人事について

資料 P6Ph2SC36-2-1 のとおり，委員の承認ならびに常時参加者の登録について審議・承認された。

また，委員の退任ならびに常時参加者の解除について報告があった。

(3) 原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針（案）について

成宮幹事より資料 P6Ph2SC36-3-1, P6Ph2SC36-3-2 に基づき，指針案のコメント対応案の説明があり，議論の結果を持って一部修正することとした。

主な議論は以下のとおり。

○P1 の英題について，わかりやすいものに修正した方が良い。

⇒「Proactive Safety Review Guideline for Continuous Improvement on Nuclear Power Plants: 201*」と修正する。

○5.1 b)項について，基本的な考え方を記載している場所なので，記載しすぎではないか？

⇒基本事項のみ記載し，詳細は附属書 A.1 に移動する。

○5.1 f)項について，経済性優先と受け取られる表現であることから修正した方が良い。（コメント No17）

⇒拝承。

○5.2 b)について，「外部組織」は第三者評価（外注による評価）も活用できることをコメント表に明確に表現した方が良い。（コメント No20）

⇒拝承。

○各箇所で「性能指標」，「安全実績」，「安全指標」と表現が複数ある。

⇒「性能指標」は「実績指標」に統一する。「安全実績」、「安全指標」は再チェックし，修正する。

○7.2 と附属書 C の総括で同じ記載がなされている。（コメント No31）

⇒つながりを持った記載としているため，このままとしたい。

○C.1.2 b)項について，同じことを二つに分割して記載されていないか。

⇒一つの文章に統合する。

○C.1.2 c)項について，改造後の影響の調査だけではないのではないか。

⇒「調査し，評価する。」に修正する。

○C.12 の安全因子名について，「ヒューマンファクター及び人的資源」から「ヒューマンファクター」に修正した。

○8.1 総括事項について、詳細は次項以降や各因子の項に記載すべきであり、ここでは記載しすぎではないか。

⇒総括事項として記載するには書きすぎのため、頭だし程度とする。

○図 8.1 について、8.1 総括事項を修正することから、その趣旨に合った図に修正すること。

⇒拝承。修正する。

○9.1.1 n)項について、わかりやすい表現方法に修正すること。

⇒拝承。修正する。

(4)原子力発電所の継続的なリスク低減活動－自主的安全性向上とは－（案）について
成宮幹事より資料 P6Ph2SC36-4-1, P6Ph2SC36-4-2 に基づき、文書案のコメント対応案の説明があり、議論の結果を持って一部修正することとした。

主な議論は以下のとおり。

○コメント No1 について、総合的リスクは何を指標とするのか。

⇒プラント毎に指標を決める。その手法の一つとして PRA がある。

○コメント No3 について、「総合的リスク」の明確化について

⇒総合的リスクについての解説を追加する。

○3.総合的リスク低減のための方法の具体的な継続的改善のプロセスについて
(コメント No7)

⇒4)改善活動の実施（継続的な監視）を修正する。

・その他に全体的に判り易く見直すとともに、本文中の略語説明を削除し、最後に略語集を追加する。

(5)今後のスケジュールについて

9/22 にシステム安全専門部会が開催され、審議される。その場で否決された場合は、臨時の分科会を開催し、対応を検討する。臨時分科会は、9/29AM で仮押さえとする。

システム安全専門部会において可決された場合は、9/26 の標準委員会で本報告となる。

以上